

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 58' 28.66"		
				経度	140° 13' 47.5"		
旭岱1号橋 (フリガナ)アサヒタイチゴウキョウ	旭岱4号線	北海道爾志郡乙部町字旭岱					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.9	小川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	I						
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01				
支承部		I						
その他		II	変形・欠損	写真006,高欄・防護柵01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として、ひび割れ補修が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1982年	13m	4.0m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 58' 38.71"	
				経度	140° 14' 7.5"	
旭岱2号橋 (フリガナ)アサヒタイニゴウキョウ	旭岱4号線	北海道爾志郡乙部町字旭岱				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道乙部町	2017.1.9	小川	無	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)			点検者	日本データサービス(株)	点検責任者	神尾友二
点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁					
	床版					
下部構造	II	沈下・移動・傾斜	写真004,下部工01			
支承部	I					
その他	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	予防処置として、下部工の洗堀防止が望まれる。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
1963年	6m	3.60m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 57' 51.51"		
				経度	140° 12' 16.72"		
旭岱3号橋 (フリガナ)アサヒタイサンゴウキョウ	旭岱6号線	北海道爾志郡乙部町字旭岱					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.7	小川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録					措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01					
	横桁	II	腐食	写真002,横桁01					
	床版	I							
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01					
支承部		II	腐食	写真005,支承部101					
その他		II	防食機能の劣化	写真006,高欄・防護柵01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として支承の塗装塗替が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">起点</div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;">終点</div> </div>
1986年	17m	4.0m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 57' 55.67"		
				経度	140° 12' 25.52"		
旭岱4号橋 (フリガナ)アサヒタイヨングウキョウ	旭岱6号線	北海道爾志郡乙部町字旭岱					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.7	小川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録					措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01					
	横桁	II	腐食	写真002,横桁01					
	床版	II	床版ひびわれ	写真003,床版01					
下部構造		II	漏水・遊離石灰	写真004,下部工01					
支承部		II	腐食	写真005,支承部101					
その他		I							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として支承の塗装塗替が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	予防処置として伸縮装置の漏水防水が望ましい。			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1990年	17m	4.0m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 57' 56.25"		
				経度	140° 12' 36.15"		
旭岱5号橋 (フリガナ)アサヒタイゴウキョウ		旭岱6号線	北海道爾志郡乙部町字旭岱				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.7	小川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01				
	横桁	II	腐食	写真002,横桁01				
	床版	II	腐食	写真003,床版01				
下部構造		I						
支承部		II	腐食	写真005,支承部101				
その他		II	防食機能の劣化	写真006,高欄・防護柵01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として、主桁の塗装塗替が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員			
1988年	17m	3.0m			
起点			終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 57' 51.71"		
				経度	140° 11' 11.79"		
小川橋 (フリガナ)オガワハシ	旭岱13号線	北海道爾志郡乙部町字旭岱					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.31	小川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01				
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						
支承部		I						
その他		II	ゆるみ・脱落	写真006,高欄・防護柵01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として防護柵のボルト締め付けの実施が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">起点</div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;">終点</div> </div>
1994年	18m	6.0m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 2' 46.17"			
				経度	140° 7' 42.88"			
栄豊1号橋 (フリガナ)エイホウイチゴウキョウ		栄豊線	北海道爾志郡乙部町字元和					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
北海道乙部町	2017.2.14	可笑内川	有	一般道				

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録					措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01					
	横桁	I							
	床版	I							
下部構造		II	変色・劣化	写真004,下部工01					
支承部		II	腐食	写真005,支承部101					
その他		II	腐食	写真006,高欄・防護柵01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として主桁支承の塗装塗替を実施することが望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
1993年	19m	5.0m	
起点		終点	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 2' 36.03"	
				経度	140° 14' 30.32"	
奥姫川橋 (フリガナ)オヒメカワハシ	乙部岳峰越線	北海道爾志郡乙部町字姫川(字旭岱)				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道乙部町	2017.2.13	姫川	無	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01				
	横桁	II	腐食	写真002,横桁01				
	床版	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真003,床版01				
下部構造		I						
支承部		II	腐食	写真005,支承部101				
その他		II	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置としてひび割れ補修、断面修復の実施が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>起点</span>  <span>終点</span> </div>
1968年	22m	4.0m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。



橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 2' 37.52"		
				経度	140° 14' 27.91"		
峰越橋 (フリガナ)ミネゴエハシ	乙部岳峰越線	北海道爾志郡乙部町字姫川					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.2.13	姫川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	日本データサービス(株)	点検責任者	神尾友二
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01			
	横桁	II	腐食	写真002,横桁01			
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		II	腐食	写真005,支承部101			
その他		II	亀裂	写真006,高欄・防護柵01			

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	予防処置として主桁支承の塗装塗替を実施することが望ましい。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点	終点
1969年	31m	4.0m		
				

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 1' 49.18"	
				経度	140° 14' 18.07"	
無名橋 (フリガナ)ムメイバシ	乙部岳峰越線	北海道爾志郡乙部町字旭岱				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道乙部町	2017.2.13	姫川	無	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01				
	横桁							
	床版							
下部構造		I						
支承部		I						
その他		II	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	予防処置としてひび割れ補修、断面修復の実施が望まれる。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1963年	3m	3.60m
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>起点</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>終点</p> </div> </div>		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 1' 36.6"		
				経度	140° 14' 15.84"		
峩郎橋 (フリガナ)ガロウバシ	乙部岳峰越線	北海道爾志郡乙部町字旭岱					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.2.13	姫川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	日本データサービス(株)	点検責任者	神尾友二
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版	II	漏水・遊離石灰	写真003,床版12			
下部構造	II	ひびわれ	写真004,下部工01				
支承部	I						
その他	II	腐食	写真006,高欄・防護柵01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)				
点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として、下部工のひびわれ補修が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	予防処置として、高欄の取替えが望まれる。			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1963年	11m	3.60m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 1' 24.66"		
				経度	140° 14' 18.98"		
万年橋 (フリガナ)マンネンハン	乙部岳峰越線	北海道爾志郡乙部町字旭岱					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.9	姫川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録					措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	I							
	横桁								
	床版	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真003,床版01					
下部構造		II	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01					
支承部		I							
その他		II	腐食	写真006,高欄・防護柵01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として、下部工の断面修復が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	予防処置として、高欄の修復が望まれる。			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">起点</div>  <div style="text-align: center;">終点</div> </div>
1963年	10m	3.60m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。